

# 電池の捨て方や保管方法に ご注意ください！

普段どのように電池を捨てたり、保管したりしていますか？

実は、使用済みの電池や開封後の未使用の電池を、異なる種類の電池と一緒に袋やごみ箱などに保管していると、**火災を招く危険性があります。**

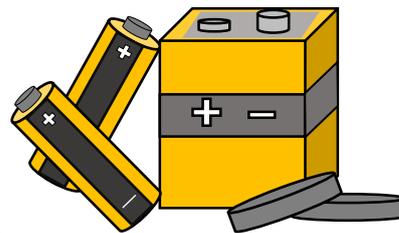
電池の保管方法が原因となった火災は毎年発生しており、過去には建物が全焼した事例もあります。

## ○なぜ火災がおこるのか

図のような状態で保管していると、電池どうしが接触し、プラス極とマイナス極がつながることにより電流が流れ、時には発火することがあります。その近くに燃えるものがあれば、火災に至ってしまいます。

## 誤った保管

袋や缶などに複数の種類をそのまま入れる



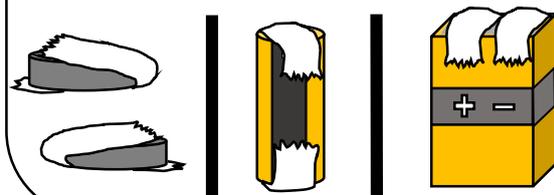
## ○火災を起こさないために

電池を捨てる時は、必ずテープなどで電極をふさぐように貼りましょう。ボタン型の電池の場合は、電池を被うように貼ります。

また他の種類の電池と接触しないように、それぞれの種類ごとに分けて保管しましょう。

## 正しい保管

- ・ビニールテープなどを貼る
- ・種類ごとに分ける



乾電池は日常生活での使用頻度が高く、各家庭で使用されていることと思います。身近で便利なものにも意外な危険が潜んでいることがありますので、使用方法や保管方法を今一度確認しましょう。